



菴木小学校では、本年度の校内研究のテーマを、「主体的に考え、判断し、行動する児童の育成～資質・能力育成を目指した教科横断的なカリキュラム・マネジメント～」と設定して、日々の授業実践に取り組んでいます。その一環として、11月16日に、全クラスで公開研究授業を行いました。今回は、その授業の様子をご紹介します。

## 1年生

生活科「秋の宝物を紹介しよう」ということで、今まで集めた中で1番の宝物を紹介し合いました。分かりやすく説明するには、発見ポイント（見た・聞いた・におった・さわった・思った）をたくさん話すことが大切だと気がつきました。この学習で紹介した宝物を使って、おまつりを開くのが楽しみです。



## 2年生

国語科「自分で作ったおもちゃの作り方を分かりやすく紹介しよう」という学習を行いました。2つの文章を比べて、分かりやすい説明のポイントを見つけられました。見つけたポイントを使って分かりやすい説明ができるよう頑張っています。楽しいおもちゃまつりにしてくれることと思います。



## 3年生

国語科「ぴったりなことわざでつたえよう」の学習では、それぞれのエピソードスピーチにぴったりあうことわざをパネルから選び出すクイズ形式をとりました。初めて出会うことわざに対し、友達のスピーチに耳を傾けながらヒントになる言葉を探したり、比べたりしながら、ペアやクラスの対話で答えを導く中で、ことわざのおもしろさに気づきました。



## 4年生

国語科「つながりに気をつけよう」の学習では、1文が長くてわかりにくい文章を、内容の切れ目で句読点を入れたり、接続語を追加したりして、相手に伝わりやすい文章に修正しました。「文が長いからわかりにくいんだよ。」「ここで話が変わるから文を切りました。」などと話し合いながら、学級全体で文章の修正をすることができていました。



## 5年生

国語「固有種が教えてくれること」を題材にして、説明文の文章と一緒に載せてある図や表やグラフ等の持つ意味や効果について考える学習をしました。子どもたちは、グループでも、全体でも積極的に意見や質問を出し合っていましたし、司会の児童が話す学習のまとめもばっちりでした。



## 6年生

国語「『鳥獣戯画』を読む」を使って、説明の工夫を学習しました。これまで学習した文章とは違い、説明文の型に捉われていないのに分かりやすいのはなぜかを、資料を使った説明の仕方に着目して考えていきました。これまでの経験や積み重ねを活かし、それぞれがしっかり考えを伝え、グループでの話し合いでも活発に意見を交わすことができました。



どの学級でも、子どもたちがいきいきと、一生懸命に学習していました。ぜひ、次回1月21日（木）では、子どもたちの学校での頑張りをご覧ください。

